

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和2年度 市営箱崎ふ頭住宅新築工事	階数	地上8F
建設地	福岡市東区箱崎ふ頭3丁目3-5の一部、4090-6の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	132 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2020年11月30日
敷地面積	3,357 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン 定森淳一
建築面積	540 m ²	確認日	2020年12月2日
延床面積	3,507 m ²	確認者	(有)回工房 後藤 葉美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	住戸内の断熱性能に配慮した。 ライフサイクルCO ₂ 排出量を90%に抑制し、地球温暖化対策に配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	居室の開口部はハキダシ窓を計画し、光・視環境、空気環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り植栽を設け、敷地内環境に配慮した。
LR1 エネルギー	住戸内の断熱性能に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を90%に抑制し、地球温暖化対策に配慮した。
Q2 サービス性能	福祉のまちづくり条例チェックリストの最低限を満たし、バリアフリーに配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器を採用し、水資源の保護に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される